

やまゆりニュース



一般社団法人やまゆり知的障害児者生活サポート協会
理事長 安藤浩己

やまゆり生活サポート協会会員の皆様へ

秋冷の季節になりました。新型コロナウイルスの感染は下げ止まっており、連日数百名の感染者が報道されています。いつ感染してもおかしくない状況の中で、会員の皆様は感染予防にご苦労されていることと思います。コロナの問題は、病と向き合うだけでなく、隔離中の生活や他者からの中傷という問題を抱えているだけに、感染の不安は大きいのではないのでしょうか。会員の中にはすでに感染された方もいると思います。皆様がいち早く快復されることを祈っています。



やまゆり生活サポート協会でもコロナの影響を受けています。残念ながら今年度の研修会は開催できていません。必要な会議も最小限にしています。また、保険の請求でも変化がみられているようです。個人賠償保険の請求がいつもより増えているという報告を受けています。おそらく自粛生活を強いられる中で多くの方々がストレスにさらされた結果と考えられます。

しかし、いつまでも自粛してはいられません。事務局では研修会を ZOOM などで実施できないか検討中です。他にもコロナに負けないための方策がある筈です。会員の皆様からの助言は大歓迎なので、是非お寄せ下さい。ウィズ・コロナという言葉がありますが、一定の人々が感染するのが日常になりつつある今日、感染防止対策を緩めることなく、今までの生活を取り戻していくしかないのかもしれないかもしれません。

最後になりますが、今年度から保険料の値上げがあつたのにもかかわらず、昨年を上回る方が保険に加入して頂きました。現在は、昨年より約 180 人増え、9,570 人余となっています。これも皆様のご理解のおかげと御礼申し上げます。今後、コロナ下の中で保険が必要になる方もいると思います。遠慮なくご活用いただき、皆様が安心して地域で暮らしていく一助となることを願っています。



2020年アールブリュット作品展

今年度も、6施設から66作品の応募がありました。一般社団法人全国知的障害児者生活サポート協会（以後全サポという。）へ、やまゆりから応募した作品からパンフレットの表紙の入選はありませんでしたが、2名の方が全サポ作成の「2021年度のカレンダー」に掲載されることになりました。来年は、もっともっとたくさんの方がご応募下さい。毎年、3月頃に募集のご案内をいたします。絵画・陶芸・書道他
いろいろな作品を作ってお待ちください。



渡辺彩音さん手作りのロゼット

すべての皆様の応募作品はやまゆりのホームページでご覧になれます。アドレスは <http://yurisapo.jp> です。

やまゆり生活サポート

検索

今年の参加賞！！
一昨年の応募者の方々に好評でした左の写真「ロゼット」を応募者全員に贈りました。

■令和元年度 決算報告

【運営費の部】

〔収入の部〕

科 目		予算額	決算額	差 額
会 費	制度運営費	22,598,331	23,652,840	1,054,509
雑 収 入		100	100.161	100.061
繰 越 金	前年度繰越金	12,886,008	12,886,008	0
合 計		35,484,439	36,639,009	1,154,570

〔支出の部〕

科 目		予算額	決算額	差 額
一般管理費		18,660,000	16,103,259	2,556,741
全サポ会費		1,915,500	1,891,500	24,000
事業費		2,800,000	2,101,915	698,085
	(自主事業)		(1,251,915)	
	(共催事業)		(850,000)	
予備費		12,108,939	0	9,623,073
繰越金	次年度繰越金	0	16,542,335	△16,542,335
合 計		35,484,439	36,638,994	△1,154,555

【保険料の部】

〔収入の部〕

科 目		予算額	決算額	差 額
保 険 料	預り保険料	148,906,395	155,364,530	6,458,135

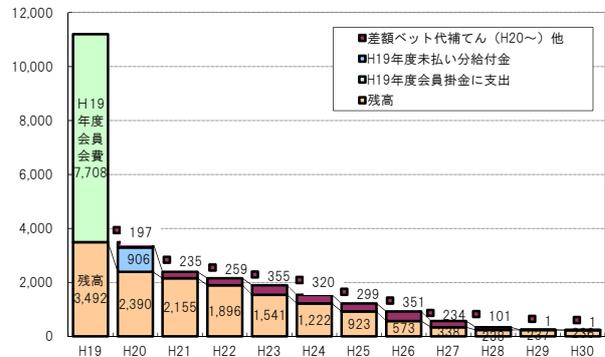
〔支出の部〕

科 目		予算額	決算額	差 額
保 険 料	預り保険料	148,906,395	155,364,530	6,458,135

「やまゆり互助会」が積み立てていた責任準備金を

会員様への還元事業として(右のグラフ参照)

サポート協会に移行する前年の平成19年に当時の互助会員5,700人の互助会最後の掛け金を無料にし、残り3,400万円余で全国でも神奈川県だけが「差額ベッド費用補てん」を独自に行ってきたものです。平成20年度から7年間は上限2,000円の補てんを、平成27年度からは上限1,000円の補てんをし、3年間の請求権の期限も平成31年3月31日をもって終了しました。長い間、事務局が皆様への還元だけを考え、役員の皆様の応援もあり、やりとげる事ができましたことを感謝しご報告申し上げます。



■令和元年度 やまゆり共催事業報告

日 時	内 容	会 場	主催団体
R1/09/18、 他3回	相模原市知的障害福祉協会研修会： ①グループホーム職員向け研修会(R1/9/18)、②実践発表会(R1/11/27)、③オンパズマンネットワークの活動を通して(R2/2/19)、④工賃向上にむけた支援者の役割とは(R2/2/26)	相模原市障害者支援センター 一松が丘園 3階研修室	神奈川県知的障害施設団体連合会(相模原)
R1/07/05、 08/29、 10/08、 12/12	川崎市障協 令和元年度研修会： ①支援における“不適切行為”をなくすために②社会の中で生きる障害者の生きづらさ～支援をされる側の論理～ ③子供の権利擁護、より良い支援をするために④「権利擁護と意思決定支援」～基本に立ち返ろう～	国際交流センター 大山街道ふるさと館 イベントホール 高津市民館 川崎市産業振興会館	神奈川県知的障害施設団体連合会(川崎)
R1/11/05	神奈川県オンパズマンネットワーク交流研修会	横浜ワールドポーターズ 6階イベントホールB	神奈川県知的障害施設団体連合会(県域)
R2/01/10、 他1回	地域生活支援拠点 権利擁護研修会	横浜市健康福祉総合センター -8階A/B会議室	神奈川県知的障害施設団体連合会(横浜)
R2/01/31	家族にできる「意思決定支援」part2	かながわ県民センター1501号室	神奈川県手をつなぐ育成会
R2/02/27	障がいのある子どもとおとなの歯の健康	藤沢商工会館ミナパーク	神奈川県手をつなぐ育成会
R2/02/19	第33回 知的障害者が地域で幸せに暮らすための共に考える集い	横浜市健康福祉総合センター -1大会議室B	特定非営利活動法人横浜市手をつなぐ育成会
R1/11/20	「合理的配慮」とは何かを、知的障害疑似体験と具体例から考える研修会	川崎市生活文化会館 2階 「てくのホール」	川崎市育成会手をつなぐ親の会
R2/03/03	知的障害のある人への「意思決定支援」について学ぶ 延期	川崎市生活文化会館 2階 「てくのホール」	川崎市育成会手をつなぐ親の会
H30/07/07	(権利擁護事業/研修会) テーマ「知的障害者にとっての「我が事・丸ごと」	海老名市文化会館 3階会議室	神奈川県知的障害者施設保護者会連合会
R1/11/23	(相談支援事業/研修会) テーマ「2025年問題と高齢者の健康について考える」	横浜市社会福祉センター 8階	神奈川県知的障害者施設保護者会連合会
R2/03/01	(権利擁護事業/研修会) テーマ「法人後見の取り組み」 延期	海老名市文化会館 351・ 352会議室	神奈川県知的障害者施設保護者会連合会

～ やまゆりは各構成団体の研修事業・活動を分担金(上限10万円)で応援しています!! ～

■令和2年度 予算

【運営費の部】

〔収入の部〕

科 目		予算額
制 度 運 営 費		22,958,470
雑 収 入		100
繰 越 金		16,542,335
合 計		39,500,905

〔支出の部〕

科 目		予算額
一 般 管 理 費		20,750,000
全 サ ポ 会 費		1,932,000
事 業 費		2,800,000
予 備 費		14,018,905
合 計		39,500,905

【保険料の部】

〔収入の部〕

科 目		予算額
預 り 保 険 料		174,284,003

〔支出の部〕

科 目		予算額
預 り 保 険 料		174,284,003

令和元年度 やまゆり知的障害児者生活サポート協会主催研修会企画

小山珠美氏 講演会



参加費無料

「おいしく楽しく食事を続けるために」
～だれもが、口から食べ続ける願いを実現したい！～
安全な食事介助の相互演習を行います

日時：令和元年 **11月13日（水）**
10：00～12：00（受付9：30～）

会場：神奈川県立かながわ労働プラザ 3階多目的ホールB

講師プロフィール
NPO法人 口から食べる幸せを守る会理事長 / 神奈川県厚生連伊勢原協同病院 摂食嚥下機能療法室 勤務
/ 日本看護学会所属 / 日本摂食嚥下リハビリテーション学会（評議員・認定士）/ 看護師
・テレビ出演-NHKプロフェッショナル仕事の流儀-食べる喜びを、あきらめない-
・主な著書「口から食べる幸せを守る」（主婦の友社）
「おいしく食べ続けたい」（NPO法人 口から食べる幸せを守る会）

- 《主な項目》
- 1.口から食べることで知っておきたい知識
 - 2.口から食べ続けるために必要な包括的知識
 - 3.これだけは守ってほしい食事介助のポイント
 - 4.食べるサポートを受けたいとき、どうするの

11/13(水) かながわ労働プラザ3階多目的ホールで令和元年度第2回目の研修会が開催されました。家族・施設職員の方々等たくさんの参加がありました。初めての試みとして、当日は二人一組になり簡単な食事介助の実践を参加者にさせていただきました。

感想等ご協力いただいたアンケートの中から一部を紹介します。（一部要約）

- とても有意義な時間でした！基本から学ぶ事が出来、スライドもわかりやすく良かったです。自分もたべること（口で、自分で）の大切さを知りました。エンディングロールが泣けました。母にしてあげたかったです。

- 歯科衛生士です。訪問歯科・口腔外科ケアは行っていますが、直接嚥下訓練はハードルが高く、また事情的に行っていません。今回の研修で具体的知識が得られ大変ありがたく感謝いたします。又、大変勇気をいただきました。
- 知的障がい者施設に勤務していますが、食べることへの意識を持たせることが難しいと感じます。しかし、不適切介助は良く見るところです。少しでも長く食べることを続けるためにも介助者の大事な心得を伝えたい。あのエンドロールが全てを語っていると思います。
- 今回は食事に関する研修会ということで参加をさせて頂きました。研修として、基本的な部分から予防や今後どのようにサポートすべきか等演習を含めて知識として吸収することが、できました。
- 食事介助について、インターネットで検索したことしかなかったので、直接専門家の先生に教えていただき、濃密でたくさんのことを学ぶことができました。
- 摂食の開始は症状がなくなってからだと思っていたので、絶飲食は入院して2日、それ以降は食事をしながら治すということは驚きだった。
- 食事の大切さを改めて考えるきっかけになりました。食べるのが楽しみな人の楽しみが奪われないよう安全な食事環境をつくりたいと思いました。



■令和2年度 役員名

役職	氏名	所属団体名
理事長	安藤 浩己	神奈川県知的障害施設団体連合会
副理事長	出縄 守英	神奈川県知的障害施設団体連合会
副理事長	植松 みさご	神奈川県手をつなぐ育成会
副理事長	大矢 武久	神奈川県知的障害者施設保護者会連合会
理事	斎藤 喜美夫	神奈川県知的障害施設団体連合会
理事	弦巻 知利	神奈川県知的障害施設団体連合会
理事	中島 博幸	神奈川県知的障害施設団体連合会
理事	鈴木 亜紀子	神奈川県手をつなぐ育成会
理事	田中 榮子	(特非)横浜市手をつなぐ育成会
理事	美和 とよみ	川崎市育成会手をむすぶ親の会
理事	甲山 謙一	神奈川県知的障害者施設保護者会連合会
監事	荒井 忠	神奈川県知的障害施設団体連合会
監事	大井 早苗	神奈川県手をつなぐ育成会

■令和2年度 事業推進委員

所属団体名	氏名
神奈川県知的障害施設団体連合会	安藤 浩己
	入倉 かおる
	安東 泉
	永野 祐司
	近藤 誠
神奈川県手をつなぐ育成会	長谷川 裕之
	諸星 由美子
横浜市手をつなぐ育成会	荻巣 理子
川崎市育成会手をむすぶ親の会	吉野 明美
神奈川県知的障害者施設保護者会連合会	大矢 武久
本部	石川 初枝
	川島 博子

AIG 損害保険株式会社代理店(株)ジェイアイシー担当者よりごあいさつ!!



鈴木 憲太郎

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

一般社団法人やまゆり知的障害児者生活サポート協会 生活サポート総合補償制度を担当させて頂いております株式会社ジェイアイシーの鈴木と申します。

さて、昨年もこちらでお知らせさせていただいた通り、生活サポート総合補償制度は制度の改定と、掛け金の値上げを実施致しました。皆さん事情をお察しいただき、引き続きご利用いただき、感謝の念に堪えません。本当にありがとうございます。これまで以上に皆さんに寄り添い、お役に立てるよう日々努力して参りますので、よろしくお願い申し上げます。

今年は、なんといっても、コロナ、この一言に尽きます。福祉施設でも感染があり、大変なご苦勞を重ねていらっしゃるご家族の方々、施設の方々に改めて心よりお見舞い申し上げます。生活サポート総合補償制度では、コロナに感染し、病院ではなく自宅や施設内での療養となった場合でも、特別対応として入院と見なして補償の対象としておりますので、万が一そのようなことになった場合は、是非ご利用ください。

個人的には3月末に志村けんさんが亡くなったのを未だに引きずっております。心に空いた穴の大きさに、我ながら驚きながら、夜な夜な彼のコントを動画サイトで見ております。石野陽子さんとの夫婦コント、大好きです。(歳がばれますね)身内には幸運にも感染者や濃厚接触者はありませんが、身近にはコロナ感染のニュースは溢れており、冬が近づく今、より一層の感染防止対策が個人個人のレベルから必要だと改めて感じております。

そのコロナ禍の影響で、現在弊社では外出に一定の制限を設けさせていただいており、今までのようになかなか頻繁にはお会いできない状況です。大変申し訳ございません。ただ、弊社では Zoom を利用したウェブ会議システムを整えておりますし、特にご要望があれば訪問させてもいただきますので、今まで通りのご愛顧をお願いできれば幸いです。

皆さまにおかれましても、この秋冬は十分に健康に留意していただき、くれぐれもご自愛いただけたらと思います。引き続きよろしくお願い申し上げます。



昆野 将大

平素より「やまゆり生活サポート総合補償制度」を通じ、会員の皆様にはひとかたならぬご愛顧を賜り、心より御礼申し上げます。

一般社団法人 やまゆり知的障害児者生活サポート協会 生活サポート総合補償制度の横浜・川崎地域を担当させていただいております、株式会社ジェイアイシーの昆野と申します。本年度やまゆり生活サポート総合補償制度は制度の改定もあり、会員の皆様には様々なご迷惑をおかけいたしました。ただ、制度の安定のために必要不可欠な改定であり、変わらず当補償制度をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。また、今年は新型コロナの影響により、大きな変化を余儀なくされた年でした。未だ感染の終息も見えず、いつになれば元の日常にもどれるのかと、不安なお気持ちを抱かれている方もたくさんいらっしゃると思います。

やまゆり生活サポートを通じて、少しでも会員の皆様の不安な気持ちの一助となればと考え、より一層皆様に寄り添った対応に努めてまいりたいと思います。これから秋冬を迎えるにあたり、更なる感染の拡大も予想されております。皆様におかれましては、どうかお身体をご自愛ください。

今後とも宜しくよろしくお願い申し上げます。

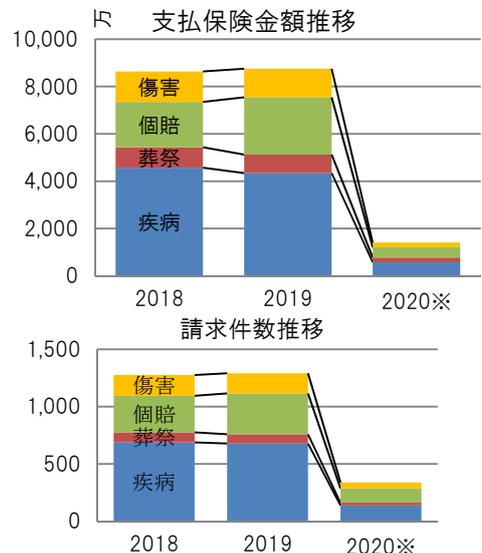
《 やまゆり生活サポート協会 支払実績 》

●支払い金額 (金額)		2018	2019	2020※
年度				
疾病		45,692,960	43,419,000	5,751,000
葬祭費用		8,656,911	7,807,700	1,978,500
個人賠償		19,126,340	24,195,417	4,363,691
傷害		12,913,010	12,060,000	1,990,000
お支払保険金 合計		86,389,221	87,482,117	14,083,191

●請求件数 (件数)		2018	2019	2020※
年度				
疾病		688	678	138
葬祭費用		87	80	23
個人賠償		319	357	126
傷害		182	176	51
請求件数 合計		1,276	1,291	338

※2020年度は9/30までの実績。

※疾病関係でのお支払が全体の半分以上を占める状況が続いています。
 安定した制度運営のために更なる会員拡大に力を入れていきたいと思っております。
 ※コロナの影響が賠償事故の請求件数・支払額が増えているようです。



*****やまゆり事務局からのお知らせ*****

【生活サポート総合補償制度 新型コロナウイルス感染症 特別措置について】

新型コロナウイルスの感染者数増加により、入院可能な病床数の減少が生じ、本来は入院が必要な患者様が入院できなくなる事象が、現実には発生しています。この状況を踏まえ、医療機関の事情により入院できなかった場合においても、所定の条件を満たしたときは、入院したものとみなして「生活サポート総合補償制度」の入院給付金をお支払いします。

◆特別措置の内容◆

医療機関・医師の指示により、臨時施設（※）または自宅で入院と同等の療養をした場合は、入院したものとみなして、入院給付金をお支払いします。

※厚生労働省が2020年4月2日に、地方公共団体に対して、無症状・症状が軽い新型コロナウイルス感染者を「宿泊療養」、「在宅療養」とするための準備に関して通知しましたが、この「宿泊療養」のための宿泊施設を含みます。

なお、冒頭記載の病床数の減少は、新型コロナウイルス感染者以外にも影響していることを踏まえ、この特別措置は、新型コロナウイルス感染症以外の病気やケガをした被保険者様に対しても適用します。

◆特別措置をする場合の保険金請求時に必要な書類◆

通常書類に加えて、次の①～③に関する医療機関・医師からの書面による証明が必要です。

- ① 入院と同等の療養が必要と判断し、臨時施設または自宅での療養を指示したこと
- ② 臨時施設の名称・住所
- ③ 臨時施設、自宅のそれぞれで療養した期間

特別措置に関してご不明な点がございましたら、
やまゆりサポート協会事務局又はジェイアイシー
までお問合せください。



(一・社) やまゆり知的障害児者生活サポート協会 TEL 045-314-7716
(株式会社) ジェイアイシー TEL 03-5321-3373

Q & A よくあるご質問 !!

Q 施設を退所しました。新しい施設は決まっています。このまま継続は可能ですか。

A 本部会員として今まで通り継続できます。また、日中活動の場所が決まりましたらお知らせ下さい。

Q 以前、けがをした時の請求を忘れていました。今から請求できますか。

A おけがをした時から3年間は有効です。1回の通院でも是非請求して下さい。その他の補償もほぼ3年間は有効です。3年間の起点日は保険金の種別により異なりますので、是非ご相談ください。

Q 疾病入院給付金の請求には、何が必要ですか。

A 病院の領収書(コピー)、または退院証明書(コピー)等です。差額ベッド代以外は支払額は関係なく入院期間のみ見させていただきます。診断書は取らないでください。



感謝状贈呈

当会の発展の為に多年にわたり貢献された3名の方々に感謝状と記念品を贈呈いたしました。



- 菅野 善也氏 2004年8月から2018年3月まで疾病入院給付金審査委員会の委員長として、またその後、差額ベッド代(2,000円～1,000円)の補てんの審査も10年余やっていただきました。
- 依田 雍子氏 2010年から2019年3月まで相談室「やまゆり」の相談員として尽力されました。
- 坂間 富治氏 2010年から2019年3月まで相談室「やまゆり」の相談員として尽力されました。



こんな時はお電話下さい
045-314-7716

必要な書類をお送りします。



- ◇加入者が引っ越して住所が変わった。
- ◇病気で入院した、検査入院をした。
- ◇被保険者の利用施設が変わった。
- ◇ケガで通院・入院した。
- ◇掛金振替口座を変えたい。
- ◇他人の物を壊してしまった。

《編集後記》 平素よりやまゆり知的障害児者生活サポート協会に温かいご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。2020年度はコロナ禍による非常事態宣言に始まり一進一退、やまゆりの自主事業も会員の皆様の安全と安心が最優先と考えておりましたので『少し様子を見て!』が半年にもなろうとしています。

会議は第1回理事会・総会は書面表決で済ませました。第2回臨時理事会の折りにJIC様のお力添えでオンライン会議ができましたので、そろそろいろいろな方法も考えなくてはと、12月1日からは「ZOOM」による会議や研修会ができる準備も整えました。

利用者の皆様が外出もイベントも中止になり、施設内に閉じこもり、イライラが募ってきたのでしょうか、個人賠償の件数が多くなっているように感じます。保険の補償でくらしの安心をお届けする一方、長期化する自粛生活に少しでも風穴をあけたり、交流もできるようになればと願っています。施設関係者やご家族の皆様のご苦労も大変なことと存じます。お聞きになりたい講演やイベントのご提案をどんどんお寄せ下さい。

やまゆりでは例年行われている支援者研修会や、本人・支援者研修会を施設ごと等小さい規模で「出前研修的な方法」で行えたら... またやまゆりも後援している横浜能楽堂普及公演「バリアフリー能」が3月20日(土)に行われますので、やまゆりの一部助成で鑑賞に出かけていただけたら等考えています。最後に、これからもやまゆり生活サポート協会は知的に障害のある方が安心して、地域の中で生きがいのある生活が送れますよう微力ながらお手伝いさせていただく所存ですのでよろしくお願いいたします。

事務局長 神谷 泰子

一般社団法人

やまゆり知的障害児者生活サポート協会
事務局〔編集〕

〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2

神奈川県社会福祉会館内

Tel:045-314-7716

Fax:045-324-0426



■構成団体■■■

神奈川県手をつなぐ育成会

神奈川県知的障害施設団体連合会

NPO 法人 横浜市手をつなぐ育成会

川崎市育成会手をむすぶ親の会

神奈川県知的障害者施設保護者会連合会